

長崎県定時制通信制体育大会

大高定時便

団体戦準優勝

大村高校
定時制



六月十一日(日)に令和五年度全国高等学校定時制通信制体育大会長崎県予選大会が、鳴滝高校・長崎工業高校をメイン会場として開催されました。本校からは、バドミントン競技に男子四名が出場しました。

団体戦は順調に勝ち進み、決勝戦進出。個人戦では、樋渡君が準決勝戦まで進みました。

試合結果は次のとおりです。

- 団体 準優勝 (樋渡、相田、森智、牧野)
- 個人 樋渡 三位
- 相田 二回戦敗退

昨年の悔しさを胸に奮起!

昨年の同大会で悔しい思いをした三名に、新しく一名を加えて大会を迎えました。毎日の授業が終わった後のわずかな時間を使って練習に励み、二週間前からは強化練習を行ってきました。本番では四名ともに練習で培った力を十分に発揮しました。

それぞれの試合が正に真剣勝負。団体の決勝戦は佐世保中央昼間部が対戦相手。手に汗を握る接戦となりました。最終セットまで勝利が決まらず、紙一重の展開に。会場にいる全ての人が見守る中でしたが、残念ながら勝利の女神は微笑んでくれませんでした。人生には、必死になって頑張っても意のままにならないことが時々起こります。今回の大会に出場して、そんな気持ちになったのではないのでしょうか。この悔しさが四人を今後大きく成長させてくれることを祈っています。

【出場した選手のコメント】

昨年の定通大会では、とても悔しい負け方で大会を終えました。その思いをバネにして、一年間、自分の体に鞭を打ちながら今大会に向けて、限られた時間を使って練習に励んできました。練習する中で、絶不調になったりケガをしたりしましたが、今大会に向けて闘志を絶やすことなく、リベンジを果たすつもりで取り組んできました。

残念なことに、個人戦、団体戦ともあと一步の成績でしたが、全員が持っているものをすべて出し切ることができました。応援してくださった校長先生をはじめ先生方、生徒の皆さん、そして家族に感謝します。応援ありがとうございました。

(四年) 相田晃輔

ワックスがけで教室をきれいに

六月十一日(日)、定通体育大会に出場しない生徒は、学校に登校し、日ごろ使っているそれぞれの学年の教室を清掃しました。きれいにした後、ワックスをかけて床がピカピカになりました。どの学年も積極的な活動ができて何よりです。

ワックスがけをした一年生の富原くんは、「ロッカーの移動が大変で、隅々までワックスを塗るのが難しかった。でも、きれいななった時の授業の時など教室にいるときの気分がよくなりました。」と感想を述べていました。

定通大会壮行式



六月九日(金)に第一体育館で壮行式が行われました。林教頭からの激励の挨拶があり、その後、生徒代表で四年の上妻君から「これまでの練習の成果と自分を信じて、最後まで頑張ってください」と励ましの言葉がありました。

生徒副会長のあいさつの後に、バドミントン部を代表して、四年森智君が力強く選手宣誓を行いました。

生徒総会

六月八日(木)に生徒総会が行われました。生徒会長の相田君があいさつをした後に議長の選出があり、四年森智君と二年中村君が選出され、議事の進行を務めました。

生徒会執行部より令和四年度の経過報告と決算報告があり、全会一致で承認されました。次に令和五年度の活動方針と活動計画、予算が審議されました。各委員会からの活動計画と各クラスの学級目標の紹介もあり、代表となった生徒は力強く発表しました。

各クラスから改善及び要望事項が出され、「服装規定の見直し」について可決されました。残念ながらその他の意見は賛同を得られず、否決となりました。しかし、否決となったものの、皆さんの学校生活をより良くすることができている内容もあったと思います。機会を見つけて、粘り強く発信してより良い環境を生徒の手で作りに上げてほしいと思います。



長崎県高等学校定時制通信制生活体験発表会

素晴らしい発表に拍手喝采

七月十九日(水)本館五階、視聴覚室において生活体験発表が行われました。審査委員としてETA会長の山下様、同窓会長の松村様、育友会長の牛嶋様が参加されました。今年には八名の発表で、充実した内容の発表が多くあり、引き締まった発表会となりました。学校生活やアルバイトで感じたこと、自分自身のこと、将来の目標や希望など、緊張しながらもしっかりと自分の言葉で発表し、それぞれの成長がしっかりと感じ取れる内容ばかりでした。



- 発表者と演題は次のとおりです。
- 一 高山 桜太(二年)「アルバイトを通して 学んだこと」
- 二 田中 結菜(四年)「将来のこと」
- 三 戸高 菜月(一年)「高校生活について」
- 四 中村 勇樹(二年)「日本文化から」
- 五 牛嶋 琉斗(三年)「趣味について」
- 六 相田 晃輔(四年)「四年の変化」
- 七 平田 遵(一年)「アルバイトの体験から 学んだこと」
- 八 福島 希望(二年)「時間の使い方」

審査の結果、中村君、相田君、福島君の三名が優秀賞に選ばれました。また、四年生の相田君が十月一日(日)に佐世保市で行われる県大会に、本校定時制の代表として参加することになりました。県大会でも益々の活躍を期待しています。

火災避難訓練

六月十四日(火)三校時に火災避難訓練を実施しました。今回は、日頃利用しない非常階段を使つての訓練となりました。短い時間でスムーズに避難することができました。今回の訓練について林教頭からは、「途中でしゃべったりせずに、速やかな避難ができた。避難の指示があつてから三分くらいで避難完了できた。学校だけでなく、自宅や出先で火事に遭遇した時には、自分たちで避難や援助依頼ができるようになって欲しい。」との講評がありました。「自分の命は自分で守る」そのためには、日頃からの訓練がとても大切であると改めて実感しました。



校内競技大会開催

七月十四日(金)、競技大会が行われました。今回の競技大会は全学年・男女混合で三チームに分け、フットサルを行いました。

準備運動をした後、四年生がリードして各チームでミーティングを行い、作戦を立てました。ゲームはどの試合も接戦が繰り広げられ、大変盛り上がりました。

日ごろの学校生活とはまた違った、活き活きとした表情で活動する生徒が多く、一学期の締めくくりに相応しい大会となりました。

性教育講話

七月十三日(木)、性教育講話を実施しました。講師として大村市こども家庭課の安田祐子様(助産師)をお招きし、約一時間の講話をしていただきました。生徒は真剣な眼差しで話を聞き、命が誕生するということがいかに奇跡的なことなのかを感じ取ったようでした。

アンケートの中には、「色々な好きがあり、その好きをその人の個性として、自分の考えや思いをアツプデートしていかうと思つた。」「今まで育ててくれた親に今まで以上に感謝しようと思つた」などがあり自分らしさを大切に、そして周りの人のその人らしさを尊重してほしい、というメッセージを生徒はしっかりと受け取りました。最後に四年生の大家さんが、「今日学んだことを忘れず、命を大切に、責任と思いやりのある行動を心掛けたい。」「お礼の言葉を述べ、閉会しました。」



薬物乱用防止教室

七月十八日(火)、薬物乱用防止教室を実施しました。大村警察署スクールサポートの田中克喜様を講師に迎え、約一時間の講話をしていただきました。講話の中で、一度も使つてしまつたや抜け出すのが難しいという薬物の恐ろしさや、薬物の使用を誘われた時に「断る勇氣・体を守る勇氣・逃げる勇氣・相談する勇氣」をもつことの大切さを学びました。最後に三年生の中村君が「自分自身の判断で生活し、ご指導いただいたことを常に忘れず、法律をしっかりと守つて、被害者にも加害者にもならない毎日を過ごしたい。」「とお礼の言葉を述べ、閉会となりました。」



つばやき

職員室の片隅に、ひっそりとサンスベリアと思われる観葉植物が置かれています。誰がいつから置いたものかはわかりませんが、四月に着任して五月の終わりにその存在に気づきました。観葉植物の栽培に関しては、素人ですが、定期的に水やりをして、葉水や肥料を与え、すくすくと育つようにと優しく声をかけながらここまで育ててきました。

七月のある日、植木鉢の端からひょこりと新しい葉が芽吹いているではありませんか。サンスベリアは、茎は地下にあつて横に這い、葉の部分だけを地上に出すそうです。それから毎日声をかけ、水をやり時々栄養を与えていたのですが、1cmほどの新しい葉が見えるうちに大きくなり、二週間の間に10cm程度に成長しています。遅い生命力を感じると同時に嬉しさがこみ上げてきます。私たちが見えないところにしっかりと根を張り生命力を持ち続け、成長を信じて適切に水や言葉を与えることで、それに応える力をしっかりと持っているのです。



これからの主な行事

- 夏季休業 七月二十一日(金)～八月二十四日(木)
- 職場訪問 七月二十一日(金)～二十八日(金)
- 三者面談 七月二十八日(金)
- 平和登校日 八月九日(水)
- 学校閉庁日 八月十日(木)
- 第二学期始業式 二十五日(金)
- 秋の面談期間 二十八日(月)～九月一日(金)